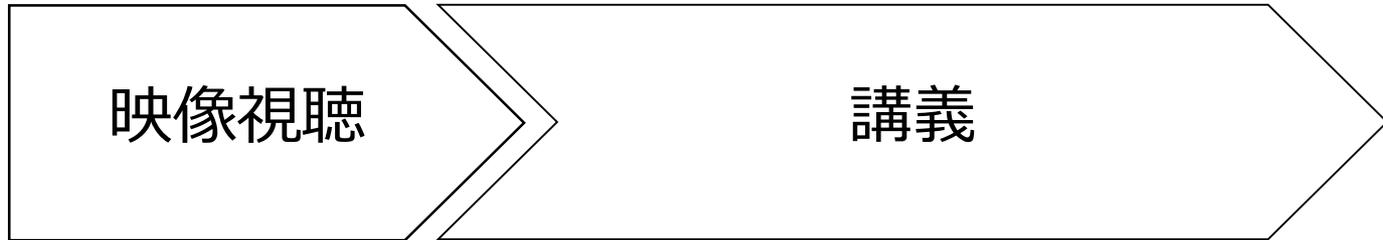


強度行動障害の理解

この時間で学びたいこと

- 強度行動障害は生まれつきの障害ではなく、**周囲の環境や関わりによって現れる状態**です。
- この時間では、強度行動障害がなぜ現れるのかを知り、**強度行動障害を予防することの重要性や改善するための考え方**を学びます。
- そして、強度行動障害が改善されることが最終目標ではなく、強度行動障害が現れている人、強度行動障害が現れやすい人たちが、**地域社会のなかで安心して幸せに生活してもらうこと**だということを確認します。

この時間の流れ



- ①強度行動障害とは（映像視聴）
- ②なぜ強度行動障害が生じるのか
- ③行動は学習の結果
- ④児童期の予防の大切さ
- ⑤適切な関わりをするために
- ⑥強度行動障害と社会参加
- ⑦誰もが幸せに生きていくことができる社会に
（強度行動障害支援の意義）

①強度行動障害とは

映像視聽

本研修の対象となる強度行動障害

障害支援区分3以上+行動関連項目10点以上
(行動援護対象者)

行動上著しい困難を有する障害者等であって常時
介護を有するもの

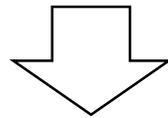
推計2.5万人

強度行動障害判定基準20点以上
(旧強度行動障害者特別処遇事業対象者)

自傷、他傷、こだわり、もの壊し、睡眠の
乱れ、異食、多動など本人や周囲の人のく
らしに影響を及ぼす行動が、著しく高い頻
度で起こるため、特別に配慮された支援が
必要になっている状態

推計0.8万人

自傷、他傷、こだわり、もの壊し、睡眠の乱れ、異食、多動など本人や周囲の人のくらしに影響を及ぼす行動が、著しく高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている状態



強度行動障害はもともとの障害ではなく、その人の状態のことです。

②なぜ強度行動障害が現れるのか

あるショッピングモールでの出来事。
困っているのは誰か？



たまたま通りがかった
Bさん

自閉スペクトラム症の
Aさん



連れてきたスタッフのCさん

BさんやCさんは困っています。

あるショッピングモールでの出来事。 困っているのは誰か？

うるさいのが苦手。
いつまでいるのかわからない。



たまたま通りがかった
Bさん

自閉スペクトラム症の
Aさん

その場から離れたいことを言葉で上手く伝えられない。

目の前に通った子を
押すという行動
で自分の気持ちを
表す。



Aさん連れてきたスタッフの
Cさん

実は、Aさんも困っています。

何をする時間なの
か分からない。
い。

このあとどうなる
か分からない。

不安・緊張



何を言われている
か分からない。

いやな刺激（音・匂い・温度など）
の中にずっといる。

不安や緊張を
伝えたい。

不安や緊張から
逃れたい。

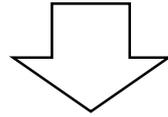
不安・緊張



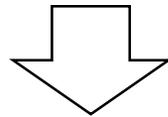
しかし、
言葉ではうまく伝えられない。
適切な手段がわからない。

→行動で自分の気持ちを表
す。

やむにやまれず行動で自分の気持ちを表す。



それでも事態が改善されないと、激しい行動になり固着化していく。



強度行動障害の状態

③行動は学習の結果

強度行動障害といわれる行動のほとんどは、
環境とのかかわりの中で学習された行動と言
われる。

『未学習』

幼少期や学齡期において、適切な行動を身につける力があるにもかかわらず、周囲の無理解や不適切なかわりによって身につけることができないままに育ってしまうこと。

未学習であるために、その場に相応しい行動が取れなかったり、自分の希望や気持ちを適切な方法で周囲に伝えることができない。



『誤学習』

未学習のまましていると、本人は何とか自分の希望や気持ちを伝えようとして自分なりの行動を取る。

その行動が他害や物壊しのようなかたちで現れると、周囲はその行動を止めようとして無理やり制止したり、逆に本人の希望することを何でも認めてしまう。

すると、本人はますます激しい行動で自分の希望や気持ちを表したり、どのようなときもそのような行動で自分の希望や気持ちを表すようになってしまう。

(=強度行動障害)



強度行動障害が現れている人たちの中に、一定の割合で**自閉スペクトラム症**の人たちがいる。

自閉スペクトラム症の人たち・子どもたちは**学べない**のではない。

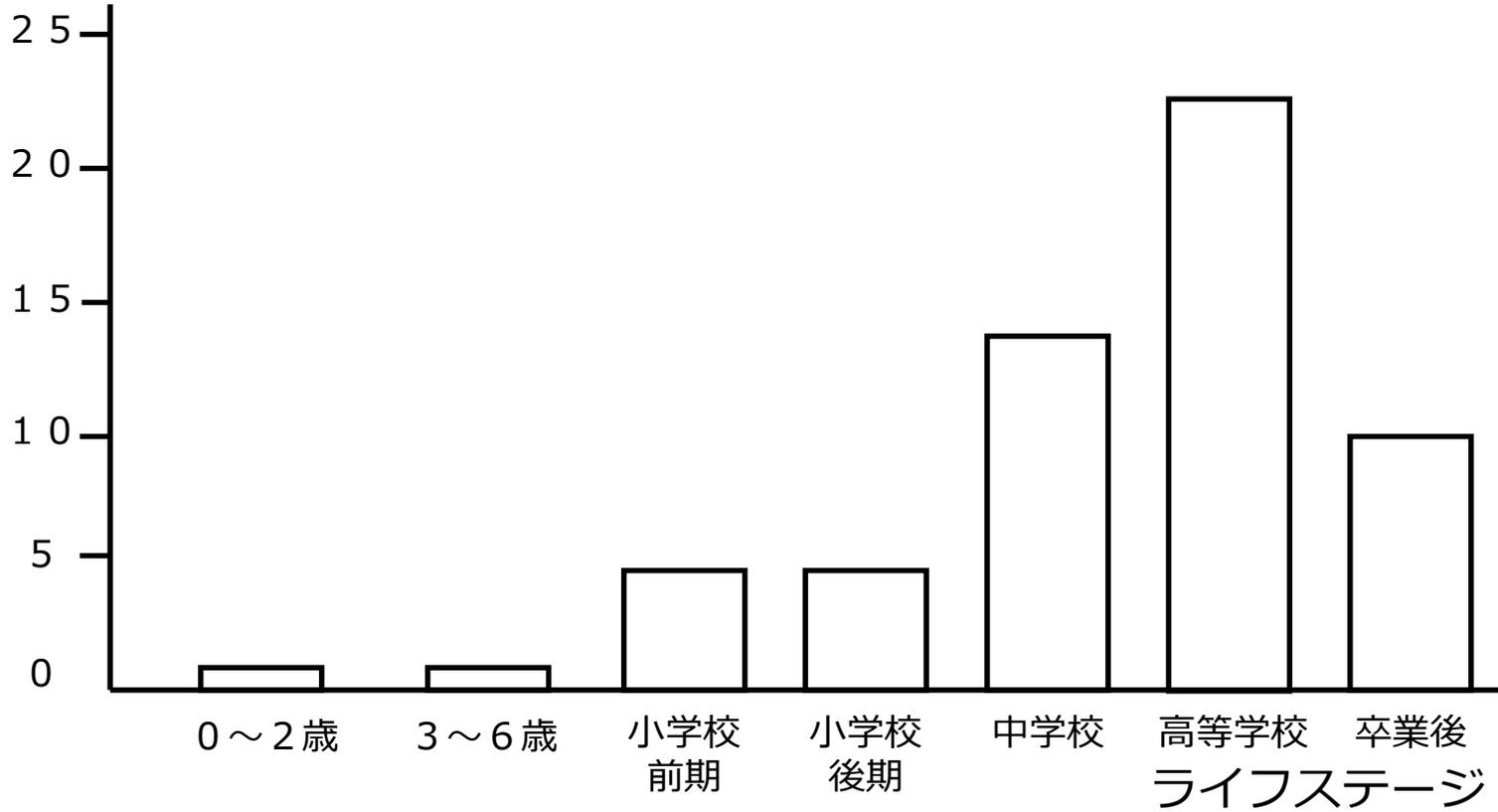
学ぶ力は持っているが、本人に**分かりやすく学ぶ機会**が少ない。

本人に**分かりやすい学びかた**（学習スタイルとも言う）に合わせて、適切な行動を学んでいくことが大切。

④児童期の予防の大切さ

最も行動障害が重篤であった時期の度数分布

人数



厚生労働省平成24年度障害者総合福祉推進事業「強度行動障害の評価基準等に関する調査について」報告書
社会福祉法人全日本手をつなぐ育成会

自傷、他傷、物壊し、騒がしさ、粗暴さ、パニックについては、**周囲とのかかわりや対応によって学習してきた結果**であると考えられる。これらの行動の多くが要求や注目、回避や拒否などのコミュニケーションの機能を有しているとみられ、**幼児期からの補助代替手段を含めたコミュニケーションの獲得が望まれる。**

最も行動障害が重篤であった時期の度数分布

人数

25

20

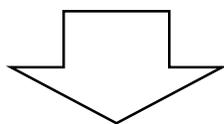
15

10

5

0

児童期の適切な関わりが重要



0～2歳

3～6歳

小学校
前期

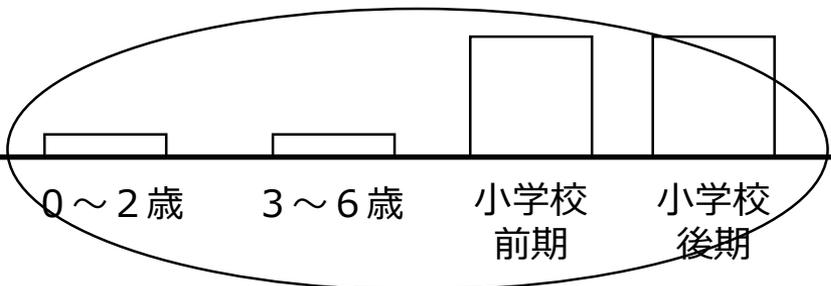
小学校
後期

中学校

高等学校

卒業後

ライフステージ



児童期に**本人にわかりやすい学び方**で、将来の生きていく力（生活スキル、コミュニケーションスキルなど）を学ぶことが大切。

児童期の適切な関わりが、将来の「**強度行動障害の予防**」につながる。

成人期においても、適切な関わり方で強度行動障害の予防や改善をすることができる。

⑤適切な関わりをするために

行動の背景を知るための「冰山モデル」



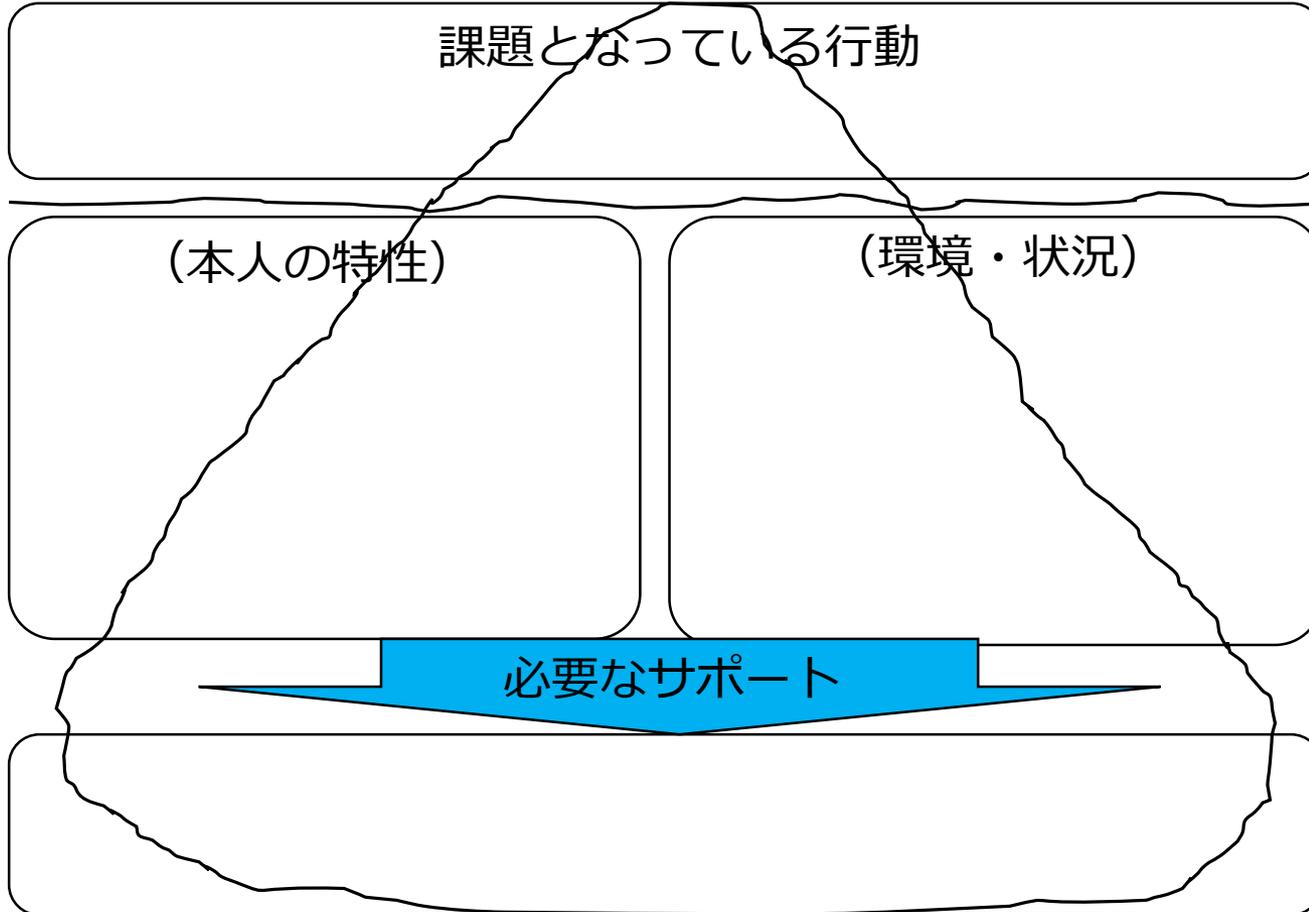
氷山の一角
=目にみえる部分

目に見える部分だけに対応を
しても問題は解決しない。

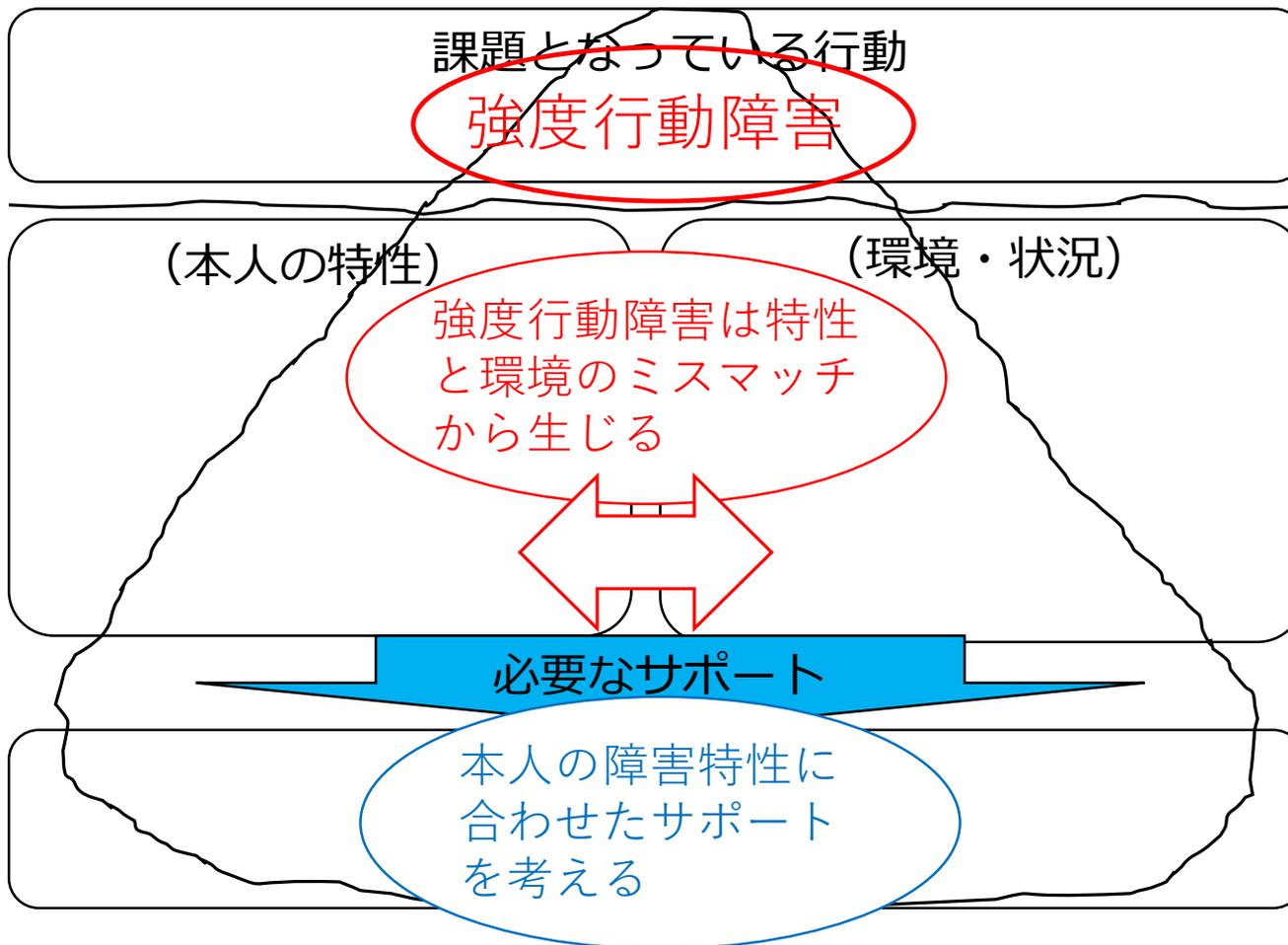
水面下に大きな塊がある
=目にみえない部分

目に見えない部分を理解して
アプローチすることで、表面
に出ている問題が小さくなる。

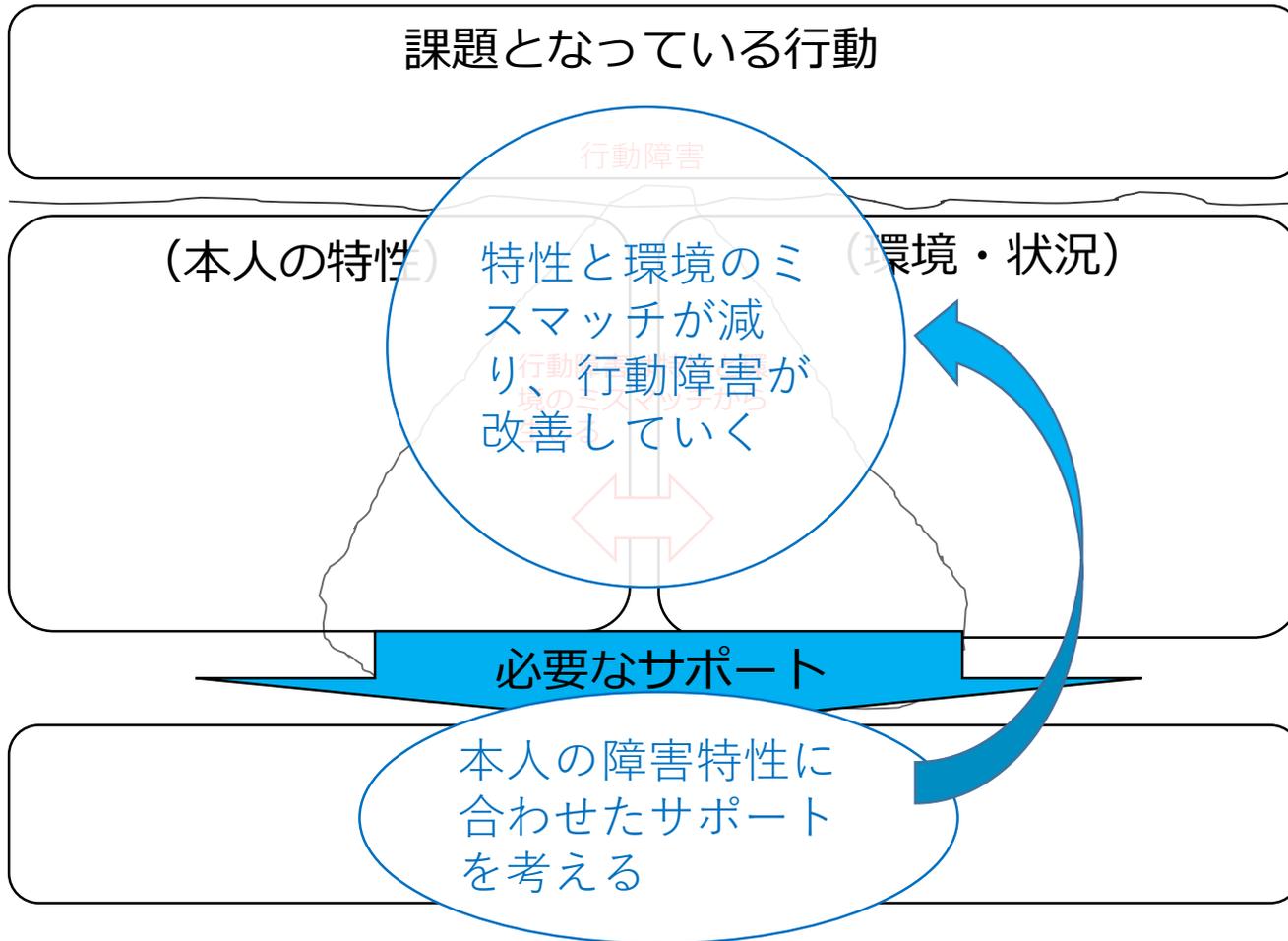
冰山モデルシート



冰山モデルシート



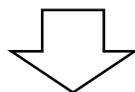
冰山モデルシート



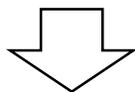
⑥強度行動障害と社会参加

適切な支援がない場合

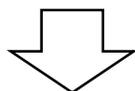
知的障害を伴う自閉スペクトラム症のAさん



「分からない」「伝わらない」「いやな刺激が続く」



適切な手段がわからない。

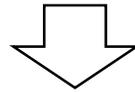


行動で自分の気持ちを表す = 強度行動障害

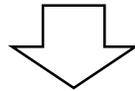


Aさんの社会参加が難しくなってしまう。

知的障害を伴う自閉スペクトラム症のAさん



「うるさいのが苦手」「いつまでいるのかわからない」



苦手な環境が続く。言葉で上手く伝えられない。

自分の気持ちを表すために、近くを通った子を押す。



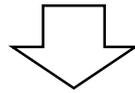
次からはショッピングモールに行けない。

買い物に行くことができない。

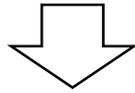
Aさんの生活の幅が狭くなっていく。

適切な支援がある場合

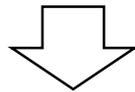
知的障害を伴う自閉スペクトラム症のAさん



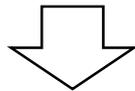
本人に合わせて配慮された環境・支援



「分かる」「伝わる」「快適な環境」



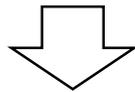
適切な行動 充実した活動 安定した生活



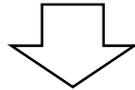
Aさんの社会参加が進む。

知的障害を伴う自閉スペクトラム症のAさん

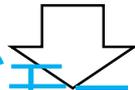
騒がしくない時間帯にお店に行く。
いつまでお店にいるか本人に分かるように伝える。



うるさくない環境での買い物
予定の見通しがつく買い物



落ち着いて買い物ができる。



次もショッピングモールで買い物ができる。

別のお店でも買い物ができる。
Aさんの生活の幅が広がっていく。

強度行動障害のある人や子どもは、

「困った人」ではなく「困っている人」

「困った子」ではなく「困っている子」

周囲の配慮によって、強度行動障害は予防や改善ができ、本人の生活の質があがることを知ることが大切。

⑦誰もが幸せに生きていくことができる社会に
(強度行動障害支援の意義)

障害者権利条約（第1条 目的）

この条約は、全ての障害者によるあらゆる人権及び基本的自由の完全かつ平等な享有を促進し、保護し、及び確保すること並びに障害者の固有の尊厳の尊重を促進することを目的とする。

障害者基本法（第1条 目的）

全ての国民が、障害の有無にかかわらず、等しく基本的人権を享有するかけがえない個人として尊重されるものであるとの理念に則り、全ての国民が、障害の有無によつて分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現する...

強度行動障害が現れているために
生活の幅や質が制限されてきた人
たちがいる。

「強度行動障害が現れている人」

||

「合理的配慮が必要な人」

この研修の目的

支援者が配慮の必要性や方法を学び、実践することで、強度行動障害が現れている人、強度行動障害が現れやすい人たちが、地域社会で権利が守られ、幸せに暮らすことです。